

吾も紅では、水無月といえば「梅仕事」。今年も職員の森本さんが中心に励んでくれました。

きれいな青梅が、森本農園と野本農園（庭師さん）から差し入れ。皆で洗って、水につけて、穴をあけて、氷砂糖に漬けます。ひとつは、梅ジュース。もうひとつは梅酒に。試飲会が楽しみです。



梅雨の晴れ間を縫って、お散歩も続けます。近所の商店に寄ると、庭の紫陽花を摘んでくれました。お礼に作ったお寿司を届け小さな交流が生まれます。利用者Kさんの畑（だった土地）も見に行きました。耕して何か作れないか、企画がふくらみます。



涼をとりながら、お庭で食事再開しました。6月19日の緊急事態緩和を受けて、中庭でバーベキュー。ボランティアさんがドラム缶を切って作ったバーベキューセットを持ってきてくれ、当日は炭起こしから焼くところまでお手伝いくださいました。利用者さんは具材を切ったり、おにぎりを作るにぎったり。朝から大忙しです。ノンアルコールビールと、早くもできた梅ジュースを片手に戸外で食べるお肉や野菜に舌鼓を打ちました。どの人も笑顔です。やってくる野良猫もおこぼれをもらいました。一足遅かった猫はふくれっ面です。ドラム缶と炭、網、トングなどの一式は寄贈していただいたのでいつでもしたいときにバーベキューできます。ありがたや～。



多くの人とつながり、支えあっている毎日の生活。まだまだ困難は続きますが、その中でもささやかな楽しみを見つけていきたいと思えます。